

イラストでわかり！

J R T T と 環 境

- 鉄道・運輸機構（JRTT）が手掛ける鉄道や船舶は、飛行機や車といった他の輸送機関に比べて、CO₂排出量が少ない環境にやさしい輸送機関ですが、鉄道建設事業、船舶共有建造事業および地域公共交通等への出融資事業を進める中でも、さまざまな取り組みにより環境負荷低減に努めています。
- その取り組みについて広く知っていただくために、イラストを作成しました！

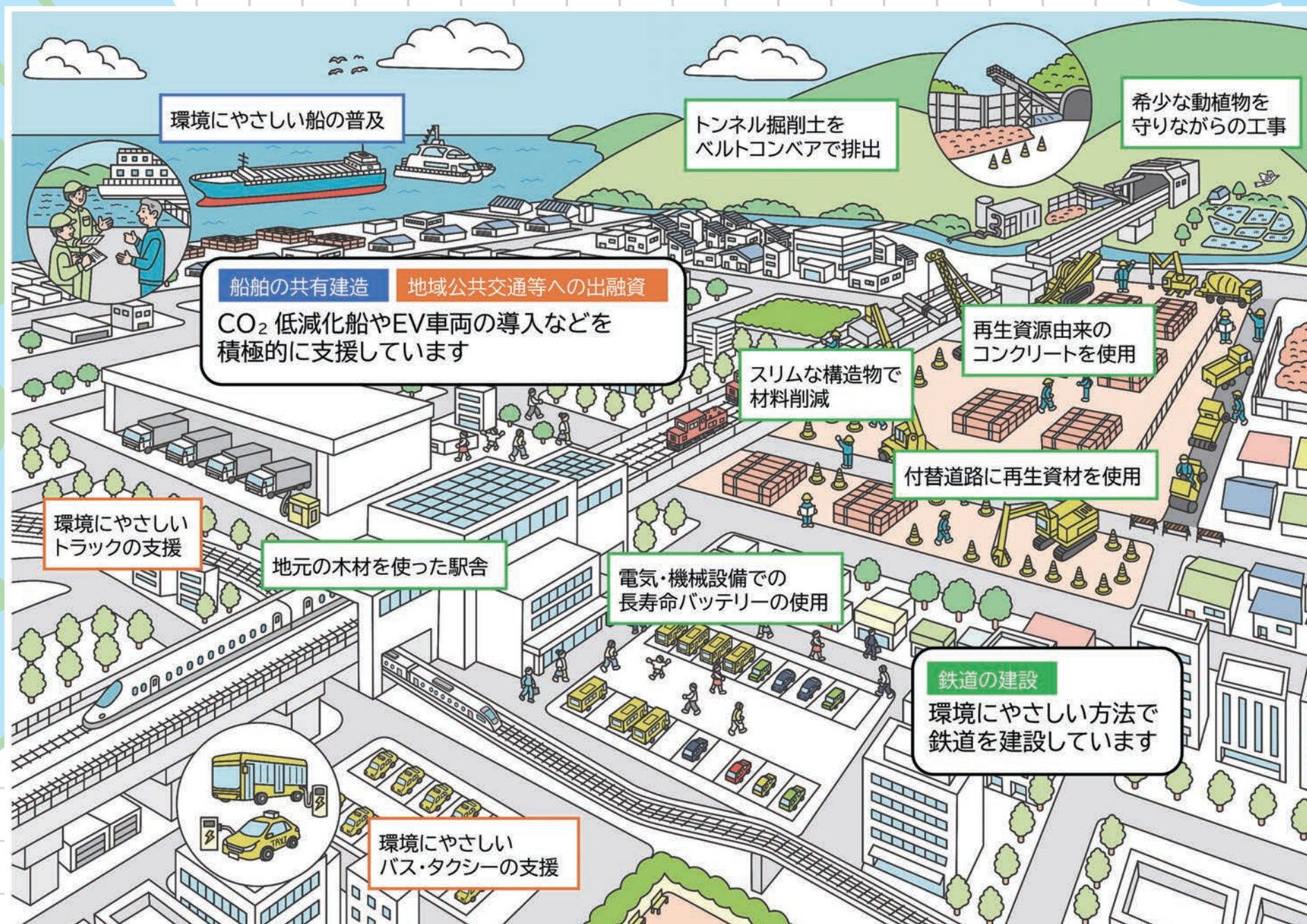
Q1. なぜイラストを作成したの？作成するうえで工夫したことは？

A JRTT が事業を進める過程での環境負担低減の取り組みについて、「ぱっと見てわかる！」を目指し、イラスト化しました（詳細は、令和 5（2023）～9（2027）年度を対象期間とする第 5 期環境行動計画や、毎年度作成している環境報告書に記載しています）。

このイラストは第 5 期環境行動計画をもとに作成していますが、計画ではやや難しい表現が少しでも伝わりやすいように、テキストを工夫しました。随所にテキストと合致した絵を描いているところもポイントです。



環境への取り組みの詳細はこちら！



Q2. どんな環境負荷低減の取り組みを実施しているの？

A 鉄道と船舶、地域公共交通等への出融資について、それぞれの代表例を紹介します。

鉄道の建設では、新幹線のトンネルを掘る際に発生する土をトラックではなくベルトコンベアで運んでいます。これによりトラックから排出される CO₂ を削減することができます。

船舶の共有建造では、船型等の改善により、一定の CO₂ を削減する船舶を国内海運事業者とともに建造しています。

地域公共交通等への出融資では、環境にやさしい公共交通（EV バスや EV トラック等）の導入に対して資金を貸し付けています。

Q3. 今後、行う予定の取り組みはあるの？

A 鉄道の建設では、より一層環境にやさしい技術を導入できないか検討中です。

船舶の共有建造では、今後は船型等を改善した船舶だけでなく、荷主・オペレーター・船主・造船事業者等が連携し、運航時や停泊時等の船の運航全体で省エネに貢献する船舶の建造を促進する予定です。

地域公共交通等への出融資では、物流 GX 関連設備の整備について、これまでの融資制度に加えて新たに出資も可能となったことから、今後はさらなる支援に取り組んでいきます。

Q4. 担当者から一言！

A JRTT では、関係者の皆様のご協力を賜りながら、環境負荷低減に努めています。最近では YouTube でもその取り組みについて紹介しておりますので、こちらもぜひご覧ください！



YouTube 動画はこちら！

